

# 都市公園の事例についての収集・周知

多様な主体と連携したコミュニティ形成等に資する様々な活動を通じ、緩やかなつながりを築ける居場所づくりに取り組む都市公園の事例について収集・周知を図る。

## ■ 緩やかなつながりを築ける居場所づくりに取り組む事例

### 公園愛護会(神奈川県横浜市)

- 公園愛護会は、身近な公園で日常の清掃、草刈等の美化活動等を行うボランティア団体。
- 横浜市は、公園愛護会の支援窓口として、「公園愛護会等コーディネーター」を各区土木事務所と公園緑地事務所に1名ずつ配置し、支援を行っている。

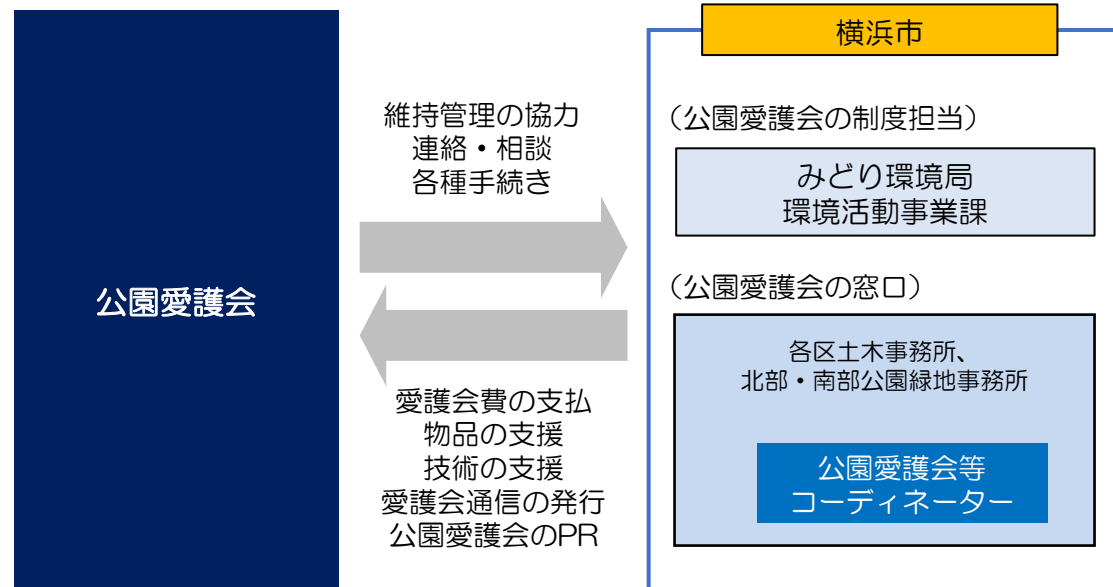
#### 取組内容

- 公園愛護会は、日常の清掃や草刈、除草、中低木や花壇の管理、利用者へのマナー啓発、地域イベントの実施など、地域毎に様々な活動を行っており、健康づくり事業と連携した「公園de健康づくり事業」等も展開している。



公園愛護会の活動の様子

#### 関係主体、実施体制



公園愛護会・支援の仕組み

出典：都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言 参考資料【事例編】1

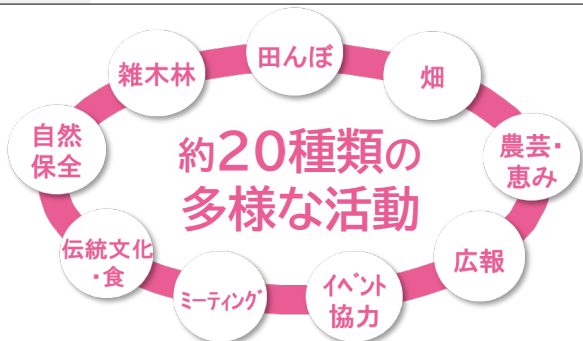
<https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/001598496.pdf>

# 里山公園における協働型パークマネジメント

- 都立野山北・六道山公園(武蔵村山市・瑞穂町)は、都立公園最大の面積(約200ha)を誇る里山公園。園内の里山体験エリアには「里山民家」が整備され、開園当時より地域の市民団体やボランティアが活動している。
- 東京都の方針では「都民協働による動植物の生息地の保全に取り組み、自然学習・作業を通じて普及啓発を進める」とあり、協働による公園の管理運営が求められている。協働事業に関する課題を乗り越えるため、2006年の指定管理者制度開始より、「STEP5」による戦略的な協働型パークマネジメントを導入。
- 参加者数や活動の質が飛躍的に向上。里山環境の再生、グリーンコミュニティの醸成、次世代育成など多様な担い手の拡大に貢献。

## 背景・経緯

当初の課題	ボランティアの高齢化やステークホルダー間の合意形成が進まない、協議会の沈滞化などの課題があった
2006年度	指定管理者制度導入。協働型パークマネジメント導入。参加数と活動の質が年々向上
2009年度	都市公園コンクール「国土交通大臣賞」受賞
2010年度	野山北・六道山公園ボランティアが、緑の都市賞「都市緑化機構会長賞」受賞
2017年度	公園ボランティア登録数473名(当初比約7倍)、ボランティアの年間のべ参加者数9,619名(当初比約10倍)
2021年度	公園ボランティアの発意で、里山サポーター制度を創設し、多様な参加機会を創出



## 取組内容

### 【協働事業を円滑に進めるパークマネジメント手法の導入】

- 公園のステークホルダーと共に「STEP5」を実行
  - ①意見を集める→②ビジョンを描く(右図)→③共に学ぶ→④共に実践する→⑤確認する
- 専門部署(都民協働部)の設置
- 多様な主体が参加できる受け皿づくり
- 活動の基本ルールを共有
- モチベーションを高める工夫
- 参加者数を増やす仕組みの構築



### 【取組みの成果】

- ボランティアの増加と多世代化  
全世代がまんべんなく活動に参加
- 活動の多様化(左図)
- 豊かな里山環境の再生  
保全活用計画を協働で作成、実践
- 里山循環の推進
- グリーンコミュニティの醸成
- ボランティア育成の仕組み構築



里山の風景づくりを通してグリーンコミュニティが醸成  
©西武・狭山丘陵パートナーズ

出典：都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言 参考資料【事例編】

<https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/001598496.pdf>